

「健康生きがいがづくりアドバイザー」は 今、社会に切望されています。

一般財団法人 健康・生きがい開発財団理事長
 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 **辻 哲夫**

生きがいがづくりを手助けする 人材養成のために財団を設立

健康・生きがい開発財団は1991年に設立、その背景には老人福祉のあり方の問題がありました。

1988年当時、私は厚生省社会局で老人福祉課長の職にあり、当時の事務次官の吉原健二氏から「これからの高齢者には健康と同時に生きがいが大事だ」と言われ、それを念頭に、さまざまな施策を展開しました。そして「生きがいがづくりを手助けする人材養成」の役割を担うために、当財団が設立されたのです。

「仲間をつくり、仲間とともに生きがいをもって社会の中でなんらかの役割を果たし、その結果として社会に貢献する」。このような環境づくりができる人材こそ

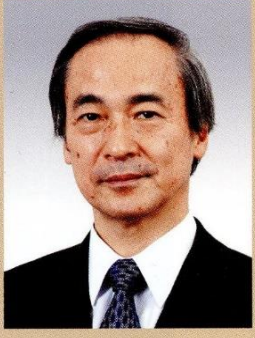
が、「健康生きがいがづくりアドバイザー」なのです。

日本の未来のために

現在、多くのアドバイザーが全国で育っています。各地で協議会組織をつくり、勉強会を開くなど、活発な活動を展開しており、今後の活躍が期待されています。

アドバイザーには、これからの超高齢社会を明るく希望あるものにする力があります。リタイア後、人生の二幕目を充実させるために、ぜひこの資格を取っていただきたいと思えますし、資格をお持ちの方はご自身の人間力を生かして地域でもうひと働きしていただくことを期待しています。

日本の未来のために、ぜひ一緒に頑張りましょう。



一般財団法人 健康・生きがい開発財団理事長
 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授

辻 哲夫

1947年兵庫県生まれ。
 東京大学法学部卒業後、厚生省(当時)に入省。
 厚生省老人福祉課長時代に健康・生きがい開発財団の設立準備の段階から関与。
 その後厚生省大臣官房審議官、厚生労働事務次官等を歴任し2007年退官。
 2009年4月より東京大学高齢社会総合研究機構教授に就任し現在に至る。
 厚生省在任時以来、高齢者が健康で生きがいを持てる社会づくりに力を尽くしている。

「フレイル(虚弱)予防」提唱者

飯島 勝矢

東京大学
 高齢社会総合研究機構
 教授(医学博士)



第二の義務教育
 「100歳大学」提唱者

國松 善次

(元滋賀県知事)
 一般社団法人健康・福祉総研
 理事長

FAX申込書 アドバイザー養成講座 & 資格認定研修会 092 - 502 - 4048

選択(シ点)	受講者氏名	性別	生年月日
<input type="checkbox"/> 養成講座 <input type="checkbox"/> 資格認定		男 ・ 女	
〒 -	住 所	電 話 番 号	